

令和8年度

要 覧



愛知県総合教育センター

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1番80

TEL 総務室 (0564) 83-9130/9131

企画情報推進室 (0564) 83-9135

教育研究推進G (0564) 83-9137

教科研究推進G (0564) 83-9140

教材研究推進G (0564) 83-9137

スキルアップ研修推進G (0564) 83-9153

キャリアアップ研修推進G (0564) 83-9154

こころの支援G (0564) 83-9746

発達支援G (0564) 83-9753

FAX (0564) 83-9129

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokyoiku-c/>



農業教育共同実習所

〒446-0066 安城市池浦町丸田172-1

TEL (0566) 76-4071

FAX (0566) 77-3477

URL <https://www.pref.aichi.jp/site/noukyo/>

設置目的

愛知県総合教育センターは、本県における教育の振興を図るため設置され、次の事業を行う。

- 1 教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること。
- 2 教育関係職員の研修に関すること。
- 3 教育相談に関すること。
- 4 教育に関する情報の収集及び提供に関すること。
- 5 生徒の実習に関すること。

(愛知県総合教育センター条例)

昭和 49 年 7 月 24 日 条例第 38 号

平成 11 年 3 月 23 日 条例第 33 号改正

平成 12 年 3 月 28 日 条例第 46 号改正

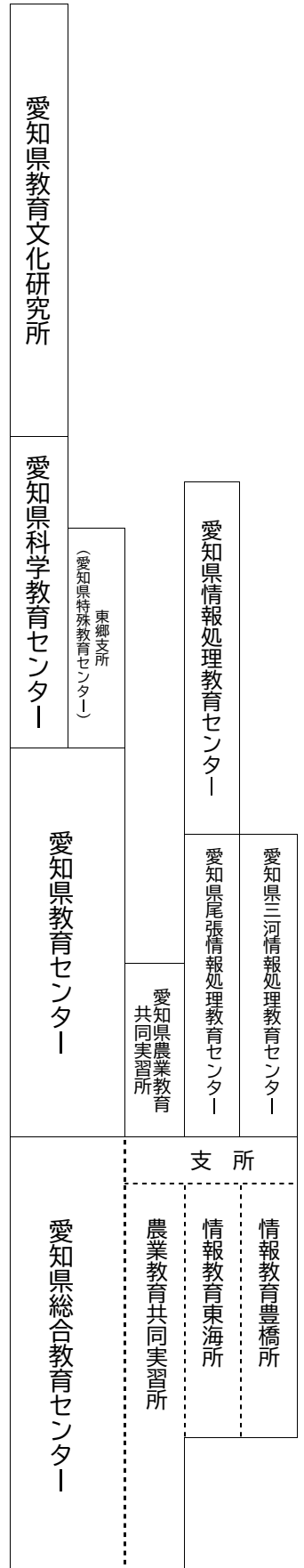
令和 8 年 3 月 27 日 条例第 28 号改正

目次

* 沿革	1
* 組織	2
* 事業概要	
I 教育研究調査事業	3
II 教育関係職員研修事業	4
III 教育相談事業	6
IV 教育情報収集・提供事業	7
V 生徒実習事業	8
VI その他	9
* 利用案内	9
* 施設概要	10

沿革

- 昭和23年 6月 告示第421号をもって愛知県教育文化研究所規程制定、事務所を県庁内に設置
- 23年 11月 愛知県教育委員会設置に伴い同委員会に所管換え
- 25年 3月 愛知県教育委員会規則第1号、第2号によって愛知県教育文化研究所処務規程及び同規則改正
- 31年 10月 愛知県営造物条例の一部改正により名古屋市千種区に「愛知県教育文化研究所」設置を明記
- 38年 12月 愛知県条例第35号により愛知県科学教育センター条例公布
愛知県営造物条例の一部改正により愛知県教育文化研究所廃止
- 39年 1月 名古屋市東区白壁町に「愛知県科学教育センター」開設
- 46年 4月 東海市に「愛知県情報処理教育センター」開所
- 49年 5月 愛知県条例第23号により愛知県科学教育センター条例の一部改正施行
東郷町に「東郷支所（愛知県特殊教育センター）」開所
- 49年 8月 愛知県教育センター全館建築工事完了
- 49年 9月 愛知県科学教育センター廃止
- 49年 10月 愛知県条例第38号により愛知県教育センター条例施行「愛知県教育センター」開所
- 50年 10月 愛知県情報処理教育センターを「愛知県尾張情報処理教育センター」に改称
豊橋市に「愛知県三河情報処理教育センター」開所
- 57年 11月 安城市に「愛知県農業教育共同実習所」開所
- 平成11年 4月 愛知県条例第33号により、愛知県教育センター条例の一部改正施行
「教育放送に関する」事業の廃止
- 12年 4月 愛知県条例第46号により、愛知県教育センター条例の一部改正施行
「愛知県教育センター」を「愛知県総合教育センター」に改称
「愛知県情報処理教育センター条例」及び「愛知県農業教育共同実習所条例」を廃止し、その機能を愛知県総合教育センターに移管
- 19年 3月 情報教育東海所及び情報教育豊橋所廃止
- 令和2年 3月 情報教育部廃止
- 8年 4月 岡崎市美合町に移転開所



組 織

<p>所 長</p> <p>次長兼 総務企画課長</p>	<p>総務企画課</p>	<p>総 務 室 (0564)83-9130 (0564)83-9131</p>	<p>【主な所掌事項】 人事・予算・文書・施設などの運営基盤業務を担当する。</p>
		<p>企画情報推進室 (0564)83-9135</p>	<p>【主な所掌事項】 事業の総合調整及び情報教育に関する業務を行う。</p>
		<p>農業教育共同実習所 (0566)76-4071</p>	<p>【主な所掌事項】 農業教育の実習及び研修を通じて実践的な学びを支援する。</p>
	<p>学校支援研究課</p>	<p>教育研究推進 G (0564)83-9137</p>	<p>【主な所掌事項】 学校の諸課題に関する研究の成果を学校現場に還元する。</p>
		<p>教科研究推進 G (0564)83-9140</p>	<p>【主な所掌事項】 各教科の研究を推進し、授業改善に資する資料を提供する。</p>
		<p>教材研究推進 G (0564)83-9137</p>	<p>【主な所掌事項】 教材等の研究開発を行い、その効果的な活用を支援する。</p>
	<p>学校支援研修課</p>	<p>スキルアップ研修推進 G (0564)83-9153</p>	<p>【主な所掌事項】 教職員の専門性向上を目的とした研修を企画・実施する。</p>
		<p>キャリアアップ研修推進 G (0564)83-9154</p>	<p>【主な所掌事項】 職務段階に応じた教職員研修を体系的に企画・実施する。</p>
	<p>子ども支援課</p>	<p>こころの支援 G (0564)83-9746</p>	<p>【主な所掌事項】 不登校等に関する相談・助言及び心理的支援・居場所支援を行う。</p>
<p>発達支援 G (0564)83-9753</p>		<p>【主な所掌事項】 発達に関する相談・助言及び理解促進等の支援を行う。</p>	

事業概要

I 教育研究調査事業

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会各課との連携の下に、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。

そのために、実態調査・課題把握、研究実践、成果の普及・還元という見通しをもって研究を進める。

1 令和8年度教育研究調査事業一覧

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	魅力ある学校づくりを実現する働き方改革に関する研究	学校ごとの魅力を捉えなおし、教職員間で教育目標を共有し、重点的に取り組むべき内容を明確にすることで、魅力ある学校づくりを実現する。また、働き方改革を進め、授業準備や子どもたちと向き合う時間を確保することで、教育の質を高める。	共同研究 (協力校・大学連携・本庁連携)
	2	デジタル人材の育成に関する研究	教育においてICTの活用が「日常化」するよう、DXの推進を着実に進めると同時に、先進事例の創出、デジタル人材育成、社会教育分野のデジタル活用推進等に関する研究に取り組む。	共同研究 (協力校・大学連携・本庁連携)
	3	主体的に社会の形成に参画する態度の育成に関する研究	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、規範意識、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度などを養う。	共同研究 (協力校・大学連携)
	4	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための探究的な授業づくりに関する研究	児童生徒が、習得・活用・探究の学びの過程の中で自ら課題を見つけ、仲間と協働して解決したり、新たな考えを形成したりするなど、探究的・創造的な活動をする授業を通して、学校の教育目標の実現を図る。	共同研究 (協力校・大学連携)
	5	インクルーシブ教育システムの推進に関する研究	インクルーシブ教育システムの推進に向け、多様な特性を有する子どもが在籍する通常の学級における支援・指導が充実するための仕組みについて研究を行う。	所内研究 (大学連携)
教科等の指導の充実	6	全国学力・学習状況調査に関する研究	愛知県の学力・学習状況調査の結果を分析し、義務教育の充実に係る基礎資料とする。	所内研究 (本庁連携)
	7	県立高等学校教育課程課題研究 (国語)(地歴、公民)(数学) (理科)(英語)(情報) (産業教育(農業、水産)(工業) (商業)(家庭、看護、福祉))	高等学校教育課と総合教育センターとの共催の事業である。 学校における教科指導の現状把握と指導上の課題等について研究する。	共同研究 (研究員・本庁連携)
	8	農業実習における安全教育に関する研究	教育現場での実験実習の安全性向上を目指し、ヒヤリハットの発生状況を分析し、子どもと教職員向けの安全教育の在り方に関する研究に取り組む。	所内研究

2 研究のまとめと発表方法

(1) センター研究発表会

喫緊の教育課題に関する講演及び研究成果の発表会（研究発表及び研究協議等）を開催し、日々の教育活動の改善・充実・発展に資する。（令和8年12月4日（金）開催予定）

(2) 研究紀要 第116集（総合教育センター学校支援研究課ウェブサイト掲載）

3 教育研究サポートデスク

(1) 目的

当センターでは、従来から学校支援研究課・図書資料室を窓口として教育関係資料の充実を図り、教育関係者の研究・研修を支援している。教育研究に関する相談について、より迅速かつ丁寧に対応するため、教育研究サポートデスクを設ける。

(2) 主な業務内容

ア 教育研究に関する相談業務

教育研究の進め方、まとめ方等についての相談に応じる。

イ 資料紹介

教育課題や教育研究、授業改善等の相談に関連する書籍や先行研究等の資料を紹介する。令和5年度からは、「センターコンテンツ表記上の統一事項」についても資料紹介として受け付け、紹介する。

ウ 出前講座

センターの研究成果を活用し、所員が学校等へ出向き、研修を支援する。

II 教育関係職員研修事業

現在の学校教育には、新しい時代に必要となる資質・能力を子どもたちに育むことが求められている。このような教育を実現するためには、教職員一人一人が学校教育の直接の担い手であるという意識を強くもち、自律的かつ主体的な研修に努め、教職員としての資質・能力をいっそう層高めるとともに、学校において研修の成果を同僚と互いに共有するなどして、学校組織全体としての指導力向上を図ることが重要である。

総合教育センターではこれらのことを踏まえ、初任者から中堅者、管理職まで、教職員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を実施する。

この趣旨に基づき、研修事業に関する重点として、次の4点を設定する。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 学び続ける教員を支援し、素養や指導力、マネジメント力など、一人一人の資質・能力の向上及び高め合う教員集団（組織）の醸成に資すること。② 学校が直面している教育課題の解決や、教育活動の活性化と充実に資すること。③ 急速な社会の変化に伴う教育改革の推進に対応すること。④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの効果的な活用に資すること。 |
|---|

1 研修内容

(1) キャリア・アップ研修（42講座）

「学び続ける教員」を育成するため、研修体系の幹となるものとして位置付けられるものが「キャリア・アップ研修」である。教職経験に応じて教員としての基本的な資質・能力の向上を図る＜教員の基礎づくりのための研修＞と、キャリアに応じた職責遂行に必要な能力や専門性を高める＜職務に関する研修＞がある。

(2) リーダー研修（11講座）

教育の諸課題に対する理解や実践力を高め、学校や地域の教育をリードするリーダー教員養成のための研修である。研修後は、個人の資質・能力の向上だけでなく、自校や地域に研修成果を還元し、専門的な知見を広めることを目的とする。

(3) スキル・アップ研修（88講座）

教員としての専門的な知識・技能を補完し、進展させる研修であり、受講希望者を対象とする自由応募制による研修である。一部、地区または学校ごとに人数を指定する講座がある。また、センターに集合することなく、全ての教職員が受講することができる「eラーニング単独講座」79講座（86教材）がある。

(4) 事務職員等研修（8講座）

事務職員等の職務遂行のために必要な知識・技能等の向上を図る研修である。

2 研修受講者予定数

(1) キャリア・アップ、リーダー、事務職員等研修 (単位：人)

区 分		幼	小	中	義	高	特	その他	合 計
研修人員	教 員 等	365 (334)	3,516 (3,598)	1,859 (1,977)	— (—)	1,940 (2,122)	994 (1,013)	180 (216)	8,854 (9,260)
	学校事務職員	— (—)	244 (205)			— (—)	— (—)	— (—)	244 (205)
	学校用務員等	— (—)	— (—)			160 (160)		— (—)	160 (160)
	計	365 (334)	5,619 (5,780)			3,094 (3,295)		180 (216)	9,258 (9,625)
研修延人員	教 員 等	1,130 (858)	11,790 (11,520)	5,763 (6,514)	— (—)	6,884 (8,079)	3,381 (3,821)	390 (707)	29,338 (31,499)
	学校事務職員	— (—)	819 (665)			— (—)	— (—)	— (—)	819 (665)
	学校用務員等	— (—)	— (—)			160 (160)		— (—)	160 (160)
	計	1,130 (858)	18,372 (18,699)			10,425 (12,060)		390 (707)	30,317 (32,324)

※ 教員等研修のうち長期研修は除く。「その他」は、保育士等。

※ () 内数字は、前年度受講者数。

(2) スキル・アップ研修 (単位：人)

	令和8年度予定	令和7年度実績							
	合計	幼	小	中	義	高	特	その他	合計
実人数	515	0	280	124	1	102	112	1	620
延人数	655	0	288	128	2	195	139	1	753

※ 予定人数及び実績は、eラーニング単独講座を除く。「その他」は、保育士等。

3 教員サポートシステム

愛知県では令和4年度より教員サポートシステムを本格稼働させており、研修の申し込みについては、原則教員サポートシステム上で行っている。令和5年度には研修履歴の記録を作成できる機能を加えるなど、研修の申し込み以外にもさまざまな機能を有している。

<教員サポートシステムの主な機能>

- ・ 研修の申し込み
「研修 My Page」若しくは「学校ページ」より、所定の手続きに従って研修の申し込みを行うことができる。
- ・ 研修の受講履歴の確認・研修履歴（ポートフォリオ）の記録
令和2年度（2020年度）以降の総合教育センター主催の研修について、受講履歴を確認することができる。
- ・ eラーニング研修の受講
研修の申し込み完了後、受講期間内に動画の視聴、講義資料のダウンロード、受講後アンケートの回答を行うことができる。
- ・ ポスト機能
総合教育センターから送付された資料等をポスト内で受け取ることができる。また、ポスト内で研修受講者が、総合教育センターから指定された課題等を提出することができる。
- ・ アンケート機能
総合教育センターが実施するアンケートや希望講座の選択等について、回答することができる。
- ・ 研修の名札作成
研修受講者が各自で、研修時に使用する名札を印刷することができる。名札の右上には二次元コードが付いており、出席確認に使用することができる。

Ⅲ 教育相談事業

こころの支援相談、発達支援相談、教育関係職員相談の三分野の相談を実施して、幼児児童生徒・保護者・教職員が抱える多様な課題の解決に向けた適切な支援を行っている。また、今日的課題である発達障害に関する相談にも応じ、障害に起因する困難性の軽減を図っている。

1 こころの支援相談

- (1) 利用対象 児童生徒とその保護者及び関係教職員等
- (2) 相談内容 身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為
スクール・セクハラ等
- (3) 相談日時 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで
（受付：午後4時30分まで）

2 発達支援相談

- (1) 利用対象 特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等
- (2) 相談内容 家庭教育、就学、進路・適性、園や学校での支援方法等
- (3) 相談日時 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで
（受付：午後4時30分まで）

3 教育関係職員相談

- (1) 利用対象 教育関係職員
- (2) 相談内容 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント
- (3) 相談日時 火・木曜日（祝日、年末年始を除く） 午前9時から正午まで
（受付：午前11時30分まで）

4 愛知県教育支援センター（ステップステーションみらい）の運営

(1) 設置目的

ア 不登校支援に係る効果的な情報を収集するとともに、情報発信やコンサルテーション等のセンター的機能を果たすことにより、県内市町村の教育支援センターや小中学校の不登校支援に係る組織の機能を高める。

イ 在籍校や地元の不登校に係る支援機関等の補助的機関として、小中学生等の不登校児童生徒を支援する。

(2) 対象

愛知県内の小・中・義務教育学校、県立附属中学校、特別支援学校小・中学部在籍の児童生徒

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携体制の構築及び情報発信

イ 通室場所の設置・運営（対象：小中学生）

ウ メタバースを活用した支援（対象：中学生）

エ 専門家を含めたチーム体制での不登校支援

5 あいちインクルーシブ教育システムサポートセンターの運営

(1) 設置目的

県内全校種の教員を対象として、障害特性や一人一人の教育的ニーズに応じて支援・指導を行うことのできる幅広い専門性を身に付けるとともに、インクルーシブ教育システムを推進する学校・教職員を支援する。

(2) 対象

愛知県内の幼稚園・保育所等、小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員

(3) 事業内容

ア インクルーシブ教育システム推進に関するコーディネート及び学校コンサルテーション

イ インクルーシブ教育システムの推進に関する教員研修

ウ ホームページを中心とした情報発信

IV 教育情報収集・提供事業

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・提供を行う。

1 総合教育センターから提供する主なコンテンツ

総合教育センター教育研究調査事業等でまとめた研究成果をホームページで公開する。また、コンテンツ作成委員会を組織し、情報発信に関する諸問題について検討して学校教育に資するコンテンツの充実を図っている。

2 愛知県教育情報システム（AIES）

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

(1) 主なデータベース

データベースの分野	主 な 内 容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報

(2) 利用方法

センターのホームページ（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokyoiku-c/>）から利用できる。

V 生徒実習事業

農業教育（農業教育共同実習所）

農業教育共同実習所では、県内高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を修得させ、実践力を高めるために、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。

また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

1 農業機械宿泊共同実習

- (1) 実習対象 2年生（9校1校舎・28学級・4系列）
- (2) 予定者数 実人員 1,004人、延人員 2,589人
- (3) 実習内容 科目「総合実習」等の一環として宿泊を伴う農業機械の基礎実習を行う。

コース名	実習内容	実習日数
農園系学科	トラクタ基本運転 トラクタ・施工機械運転（クランク走行、ロータリ耕耘、トレーラ牽引、ホイールローダ、ドラグショベル、フォークリフト）【6機種の中から3機種を選択】 エンジン分解・組立	2泊3日
農土林系学科	トラクタ・施工機械運転（ブルドーザ、ホイールローダ、ドラグショベル、フォークリフト、トラクタ）【5機種の中から3機種を選択】 エンジン分解・組立	2泊3日
生食系学科	トラクタ基本運転（クランク走行・8の字走行・車庫入れ） エンジン分解・組立	2泊3日
総合学科 （グリーン・アニマル系列、 ベジ・フラワー系列、 アグリサイエンス系列）	トラクタ基本運転（クランク走行・8の字走行・車庫入れ） エンジン分解・組立	2泊3日
総合学科 （環境デザイン系列）	トラクタ・施工機械運転（クランク走行、ドラグショベル、ホイールローダ） エンジン分解・組立	2泊3日

2 資格取得等講習

- (1) 実習対象 3年生及び2年生の希望者
- (2) 予定者数 実人員 74人、延人員 74人
- (3) 実習内容 卒業後社会で生かせる資格が取得できる講習を長期休業中に行う。

コース名	対象学年	講習日数	備考
小型車両系建設機械（3t未満）特別教育	3年生	2日（3回）	労働安全衛生規則に定める特別教育として行う（修了証交付）。
フォークリフト（1t未満）特別教育	3年生	2日（7回）	
刈払機安全衛生教育	3年生	1日（1回）	刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領に定める安全衛生教育として行う（修了証交付）。
大型特殊自動車運転技能講習	3年生	2日（2回）	大型特殊自動車運転免許取得のため運転免許試験場で受験する。
農業機械技術検定1級実技試験	2年生	1日（1回）	農業機械技術検定（筆記）の1級合格者を対象とする。

VI その他

1 図書資料室

- (1) 内 容 教育関係図書、研究紀要・研究報告書、雑誌、教科書、その他教育関係資料
- (2) 開館日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
- (3) 貸し出し 一人5冊以内、期間1か月以内（対象は、一部を除く教育関係図書）
- (4) 短期貸し出し 一人5冊以内、期間1週間以内（対象は、一部を除く研究紀要・研究報告書、雑誌）

2 教育史資料室

愛知県教育史編さん事業にかかる資料の収集と管理

3 大学との連携

教育的な連携を目的として総合教育センターと県内の大学とが協力し、基礎的・実践的研究等を行い、その成果を生かして大学及び愛知県相互の教育の充実・発展を図る。

令和8年4月1日現在、愛知教育大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部、愛知県立大学と協定を締結している。

利用案内

愛知県総合教育センター 事業問合せ

- 1 研究について [教育研究推進 G (0564)83-9137]
[教科研究推進 G (0564)83-9140]
※教育研究サポートデスクを設置しています。
- 2 研修について [スキルアップ研修推進 G (0564)83-9153]
[キャリアアップ研修推進 G (0564)83-9154]
※教員サポートシステムについての問合せ [企画情報推進室 (0564)83-9135]
- 3 教育相談について
 - (1) こころの支援相談 [こころの支援 G (0564)83-9743]
児童生徒とその保護者及び関係教職員等を対象に行っています。
 - (2) 発達支援相談 [発達支援 G (0564)83-9754]
特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等を対象に行っています。
 - (3) 教育関係職員相談 [こころの支援 G (0564)83-9749]
教育関係職員を対象に行っています。
- 4 図書資料について [図書資料室 (0564)83-9141]
図書資料等の閲覧、貸出し及び文献検索サービスを行っています。

* 閉庁日（土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日）

施設概要

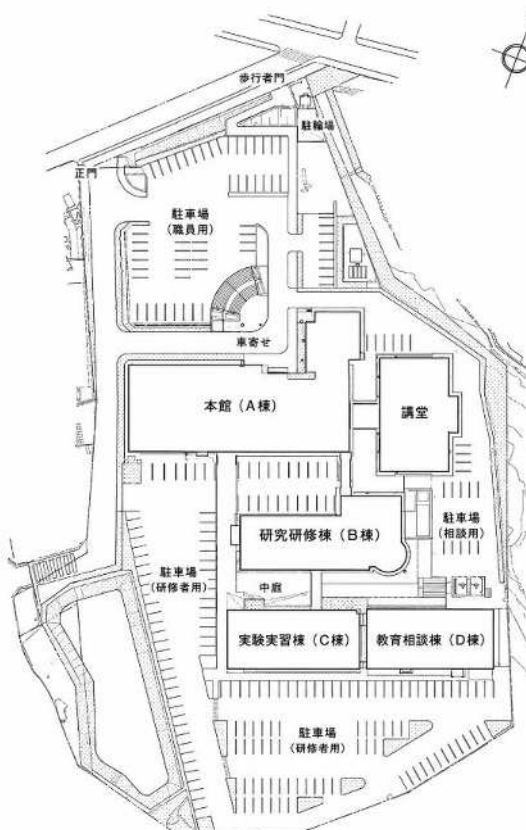
愛知県総合教育センター 施設概要・配置図・建物案内図

敷地面積 21,158.86 m²

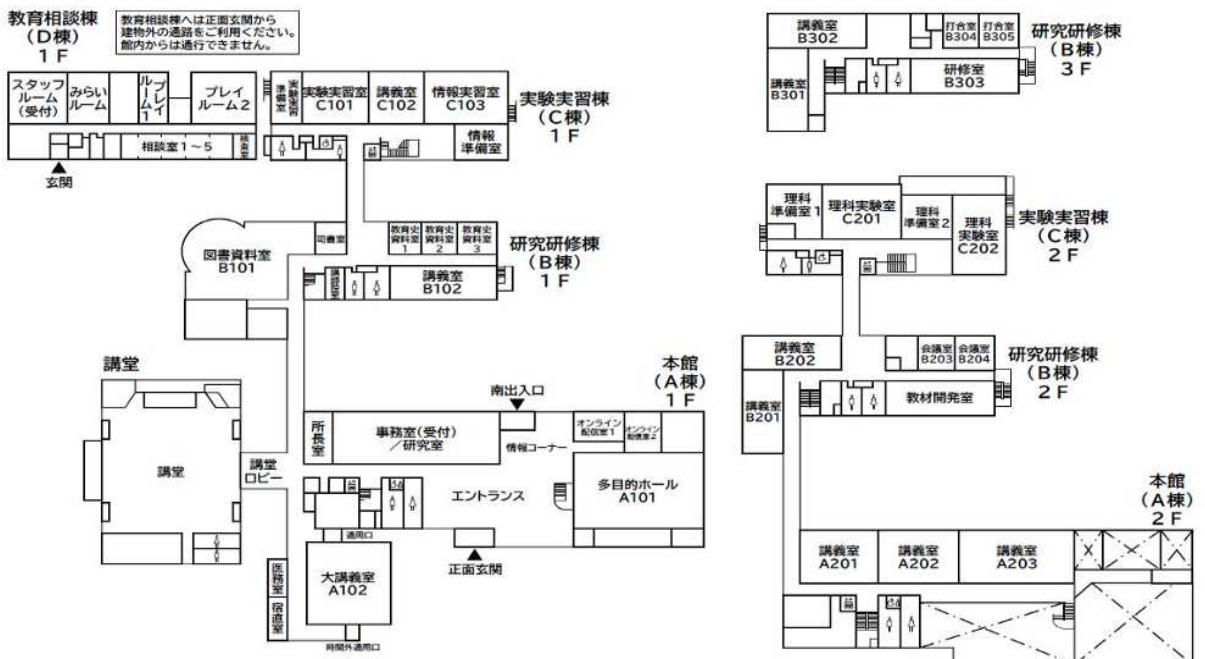
建物面積 本館はじめ5棟 延べ7,201.66 m²

駐車場 約250台収容

配置図



建物案内図

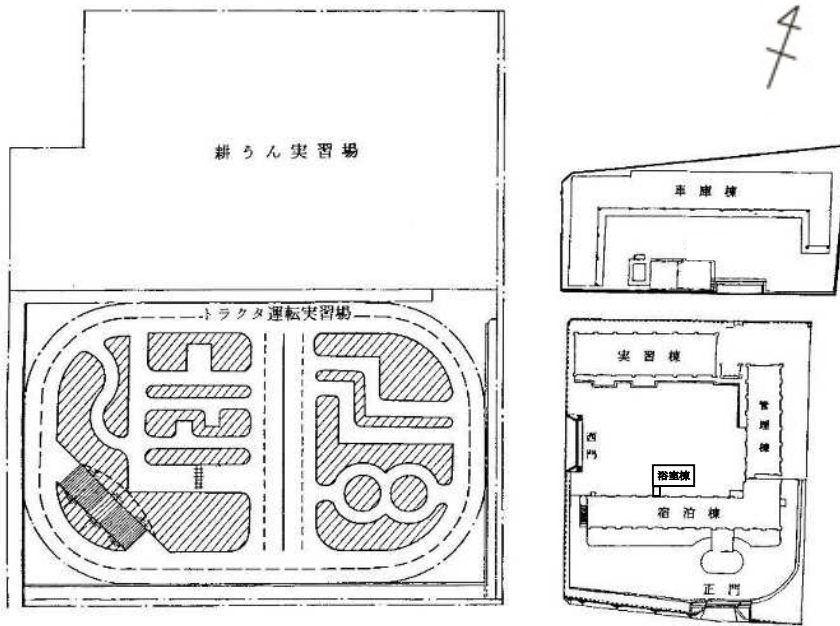


農業教育共同実習所 施設概要・配置図・案内図

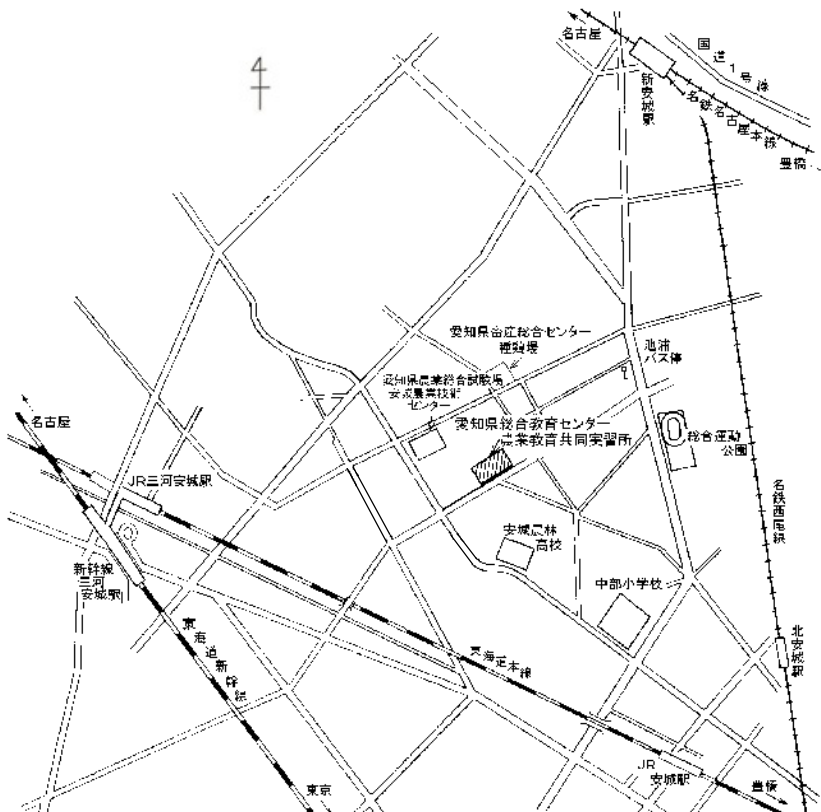
敷地面積 18,314.31 m²

建物面積 管理棟はじめ7棟 延べ2,094.01 m²

配置図



案内図



交通案内




- 名鉄本線「新安城」駅下車、
名鉄バス「安城更生病院」行き
(JR安城駅経由)「池浦」下車、
南西へ900m
- JR東海道本線「安城」駅下車、
名鉄バス「新安城」行き「池浦」
下車、南西へ900m
- JR新幹線・東海道本線「三河安城」
駅下車、東へ1,800m


愛知県総合教育センターへの交通アクセス

〒444-0802 岡崎市美合町字並松 1 番 80
TEL 0564-83-9130(代表)



交通アクセス

 電車でお越しの方 名鉄名古屋本線 「美合駅」下車 徒歩で約 15 分	 バスでお越しの方 ・ JR 岡崎駅下車 名鉄バスで「美合入込」下車 徒歩で 5 分 → 名鉄バス「名鉄東岡崎駅 (庄司田・緑丘・美合駅経由) 行き」 「市民病院(庄司田・緑丘・美合駅経由) 行き」	 お車でお越しの方 ・ 東名高速道路岡崎インターチェンジ から車で約 10 分
--	---	---

 できる限り公共交通機関をご利用ください。周辺道路はかなり混雑します。